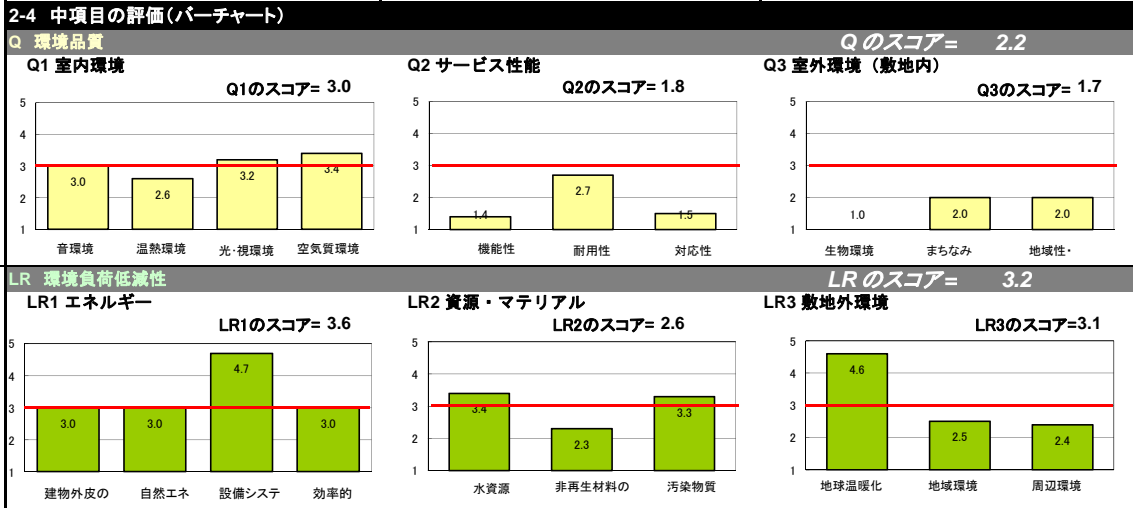
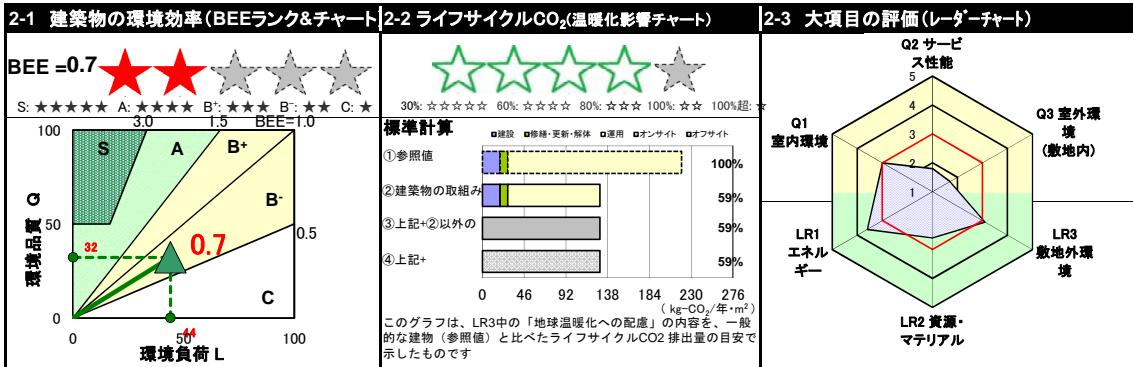


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Kビル横山町	階数	地上05OF
建設地	愛知県安城市横山町	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	100人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2016年5月1日
敷地面積	2,109 m ²	作成者	(株)名倉設計
建築面積	630 m ²	確認日	2016年5月1日
延床面積	2,618 m ²	確認者	(株)名倉設計



3 重点項目	
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>4.6</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>4.9 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>2.6</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用
Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4)地域性のある素材による良好な景観形成

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音				3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.2 遮音				3.0	1.00	3.0	0.50	3.0
1.2.1 開口部遮音性能				-	-	3.0	0.30	-
1.2.2 界壁遮音性能				4.0	-	3.0	0.30	-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				3.0	-	3.0	-	-
2 温熱環境								
2.1 室温制御				2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1.1 室温				3.0	0.50	3.0	0.50	-
2.1.2 外皮性能				-	-	3.0	0.63	-
2.1.3 ゾーン別制御性				3.0	1.00	3.0	0.38	-
2.2 湿度制御				4.0	-	-	-	-
2.3 空調方式				1.0	0.20	1.0	0.20	-
3 光・視環境								
3.1 昼光利用				2.7	0.25	3.3	1.00	3.2
3.1.1 昼光率				4.2	0.30	3.5	0.30	-
3.1.1.1 1 昼光率			エントランス13%、居室1.8%	5.0	0.60	4.0	0.50	-
3.1.1.1.1 2 方位別開口				3.0	-	3.0	0.30	-
3.1.1.1.1 3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.1.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30	-
3.1.2.1 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00	-
3.3 照度				1.0	0.15	4.0	0.15	-
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	-
4 空気質環境								
4.1 発生源対策				4.2	0.25	3.3	1.00	3.4
4.1.1 化学汚染物質			規制対象外建材の利用	5.0	0.60	4.0	0.63	-
4.1.2 アスベスト対策				5.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				3.0	0.40	2.3	0.38	-
4.2.1 換気量				3.0	1.00	3.0	0.33	-
4.2.2 自然換気性能				4.0	-	3.0	0.33	-
4.2.3 取り入れ外気への配慮				-	-	1.0	0.33	-
4.3 運用管理				-	-	-	-	-
4.3.1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	-
4.3.2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	-
Q2 サービス性能								
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ				2.2	0.40	1.4	1.00	1.4
1.1.1 広さ・収納性				3.0	0.40	1.0	0.60	-
1.1.1.1 1 広さ・収納性				4.0	-	5.0	-	-
1.1.1.1.1 2 高度情報通信設備対応				4.0	-	1.0	1.00	-
1.1.1.1.1 3 バリアフリー計画		独自		3.0	1.00	-	-	-
1.1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40	-
1.1.2.1 広さ感・景観				4.0	-	3.0	0.50	-
1.1.2.2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	-
1.1.2.3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50	-	-	-
1.3.3 衛生管理業務				-	-	-	-	-
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震				2.7	0.31	-	-	2.7
2.1.1 耐震性				3.0	0.48	-	-	-
2.1.2 免震・制振性能				3.0	0.80	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.20	-	-	-
2.2.1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.33	-	-	-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		②		3.0	0.23	-	-	-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.23	-	-	-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔				2.0	0.09	-	-	-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔				4.0	0.15	-	-	-
2.4 信頼性				4.0	0.23	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備				1.8	0.19	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備				1.0	0.20	-	-	-
2.4.3 電気設備				3.0	0.20	-	-	-
2.4.4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備				1.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性								
3.1 空間のゆとり				3.3	0.29	1.5	1.00	1.5
3.1.1 階高のゆとり				-	-	1.0	0.50	-
3.1.1.1 1 階高のゆとり				4.0	-	1.0	0.60	-
3.1.1.1.1 2 空間の形状・自由さ				3.0	-	1.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	2.0	0.50	-
3.3 設備の更新性				3.3	1.00	-	-	-
3.3.1 空調配管の更新性		②	スリーブ設置	4.0	0.17	-	-	-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.17	-	-	-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.11	-	-	-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.11	-	-	-
3.3.5 設備機器の更新性				4.0	0.22	-	-	-
3.3.6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22	-	-	-

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q3 室外環境(敷地内)									
1 生物環境の保全と創出	独自③			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮	独自④			2.0	0.40	-	-	2.0	
3 地域性・アメニティへの配慮									
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④			2.0	0.50	-	-	2.0	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-	2.0	
LR 建築物の環境負荷低減性									
LR1 エネルギー									
BPI=0									
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.40	-	-	3.0	
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0	
3 設備システムの高効率化									
集合住宅以外の評価(3a.3b)									
集合住宅の評価(3c)				省エネルギー計算による	4.7	1.00	-	-	4.7
4 効率的運用									
集合住宅以外の評価									
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	-	
集合住宅の評価									
4.1 モニタリング				3.0	1.00	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル									
1 水資源確保									
1.1 節水		節水型便器の採用		3.4	0.15	-	-	3.4	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				4.0	0.40	-	-	4.0	
1 雨水利用システム導入の有無									
2 雑排水等利用システム導入の有無									
				3.0	1.00	-	-	3.0	
2 非再生性資源の使用量削減									
2.1 材料使用量の削減				2.3	0.63	-	-	2.3	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				2.0	0.09	-	-	2.0	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	② 独自	-		3.0	0.26	-	-	3.0	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	-		1.0	0.26	-	-	1.0	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.07	-	-	2.0	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自			3.0	0.32	-	-	3.0	
3 汚染物質含有材料の使用回避									
3.1 有害物質を含まない材料の使用		壁紙接着剤		3.3	0.22	-	-	3.3	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.32	-	-	4.0	
1 消火剤									
2 発泡剤(断熱材等)									
3 冷媒									
				3.0	1.00	-	-	3.0	
LR3 敷地外環境									
1 地球温暖化への配慮									
1	①	ライフサイクルCO2概算値:59%		4.6	0.33	-	-	4.6	
2 地域環境への配慮									
2.1 大気汚染防止									
2.2 温熱環境悪化の改善									
2.3 地域インフラへの負荷抑制									
1 雨水排水負荷低減				独自	3.0	0.25	-	-	3.0
2 汚水処理負荷抑制				独自	3.0	0.25	-	-	3.0
3 交通負荷抑制				独自	3.0	0.25	-	-	3.0
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	3.0
3 周辺環境への配慮									
3.1 騒音・振動・悪臭の防止									
1 騒音				独自	3.0	0.40	-	-	3.0
2 振動				独自	3.0	0.33	-	-	3.0
3 悪臭					3.0	0.33	-	-	3.0
1.6 0.40					1.6	0.40	-	-	1.6
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制									
1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-	1.0
2 砂塵の抑制					1.0	0.70	-	-	1.0
3 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	3.0
3.3 光害の抑制									
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.20	-	-	3.0
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.70	-	-	3.0
					3.0	0.30	-	-	3.0

重点項目スコアシート

Kビル横山町

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2014年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.6	0.10	
② 資源の有効活用				2.6
Q2-2	耐震性・信頼性	2.7	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.3	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:4.9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	建物利用者が快適に使用できる建物とし、周囲環境に配慮した計画とした。
Q1 室内環境	室内の居住性を考慮した採光、照明計画とした。
Q2 サービス性能	維持管理に配慮した内装仕上げ材を採用した。
Q3 室外環境(敷地内)	防犯カメラの設置など防犯性にも配慮した
LR1 エネルギー	一次エネルギー消費量を抑えることに寄与する設備選定に努めた。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建築材料などを積極的に採用した。
LR3 敷地外環境	敷地内に必要な量の駐車スペース、駐輪スペースを確保した。
その他	